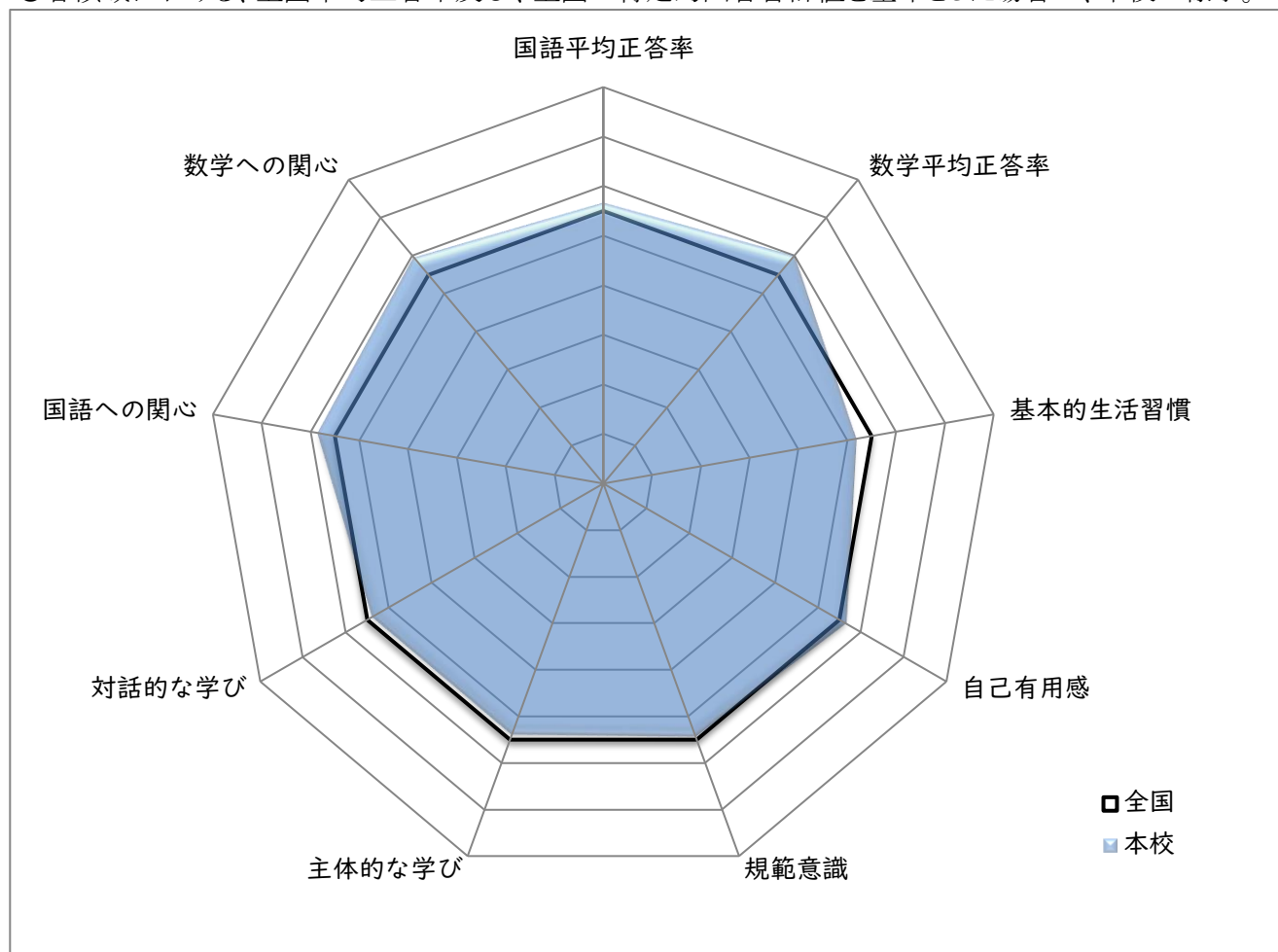


令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析表 葛西第二中学校

●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

【国語】
都や全国と比べてC層の生徒の割合が多い。また「読むこと」が都の正答率より上回っているのに対し、「話すこと・聞くこと」正答率が都、全国より低い結果である。

【数学】
平均正答率は全国より高く、東京都と同じ結果である。問題別に見ると「数と式」「データの活用」の領域が高く、「関数」「図形」が少し低い結果である。

《授業改善のポイント》

【国語】
「話すこと・聞くこと」の力を伸ばすため、伝わりやすい資料作りの授業を行い、様々な題材で発表を行う。スピーチや発表原稿作りを、「書くこと」の項目と関連させながら実施する。

【数学】
習熟度別少人数指導では、D層の生徒にもC層の生徒に合わせた授業を行うことで学習内容の定着を図りたい。5分間テストで既習事項を定着させていく。

《チャートの特徴》

今年度も国語平均正答率と数学平均正答率は全国の基準を上回っている。一方で、基本的な生活習慣の肯定的回答率は、全国平均との差が最も大きい結果となった。基本的な生活習慣のなかでも全国平均に比べて「朝食を毎日食べていますか」が約9ポイント、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」が約5ポイント低くなっている。

《家庭・地域への働きかけ》

基本的な生活習慣の確立について、朝礼や生活指導だより、ほけんだよりを通じて発信していく。